

平成二十八年度 修士論文・卒業研究題目一覧

修士論文

日本・沖縄の対米従属の姿と村上龍の反米ナショナリズム

——「限りなく透明に近いブルー」

における占領表象——

青野 凌

万葉後期歌人 高橋虫麻呂研究

—— 饑別歌を中心に ——

大矢 修造

「愛と孤独」の「密会」

—— 福祉の遠近法で捉える「ゲロテスク」の正体 ——

坂 麻実

卒業研究

浅岡ゼミナール

「ボール表紙本」の研究

西尾 是彦

『赤い鳥』と『金の船・金の星』の読者投稿欄の比較

伊藤 優美子

『現代日本文学全集』を支えた『改造社文学月報』の実態

岩岡 亮太郎

『洋酒天国』について

—— 開高健を中心に ——

大西 諒

雑誌『スタイル』の編集とその変容

鏡味 りか

『ちびくろさんぼ』の絶版前後

—— 日本の『ちびくろさんぼ』 ——

加藤 優花

マスメディア・イベントの観点から見たプロ野球

加藤 勇気

出版社の違いによる「Le Petit Prince」金原 怜美

共同著作物はなぜ絶版に追い込まれるのか

—— 『オバケのQ太郎』『キャンディ♡キャンディ』 ——

の絶版をめぐる ——

名古屋市西図書館の歴史的発展

川合 和真

『平凡パンチ』がうまれた軌跡ともたらした影響

榊原 康誠

辞書における記述の比較

—— ジャズという語句を中心に —— 鈴木 榛 乃

文藝春秋とベースボール・マガジン社の出版する

スポーツ誌の相違 竹内 遼

時代からみる女性雑誌の変容

—— 新聞広告を通して —— 鶴見 眞子

電子書籍の現状と展望について

—— 中国と日本を比較 —— ティエン ショウダン

図書館報の歴史と現在

—— 静岡県中部の図書館だよりを例に ——

宮武外骨の猥褻の思い 戸塚 優生

雑誌『スタイル』から見る投書欄の変化 畑 中 僚 太

類語辞典の比較 村 瀬 玲 子

綿 貫 愛 美

大池ゼミナール

富岡鉄斎が訪れた信州飯田 幾 島 咲 希

類義語「つかむ」と「にぎる」について 岩 本 佳 奈

現代に生きる象形文字「トンバ文字」 大 海 望

源氏物語の九人の女性たち

—— 『桐壺巻』から『賢木巻』を読んで ——

「恐」と「怖」の差異 大 脇 結 夏

手書き文字の影響と普及について 表 沙 耶

日本における草書の発生から衰退、現代まで 鎌 田 咲 子

硬筆と毛筆の相関性 小 泉 しほな

文豪の筆跡 宮 口 顕 汰

—— 『蜘蛛の糸』に見る「の」字 —— 石 井 雄 大

沖繩本島・先島方言について 上 原 拓

記号として、芸術として心を動かす文字 小 原 基 廉

外国人に対する書道教育について 梶 田 真 由

書写・書道教育の果たす役割についての考察 木 原 夏 海

若者言葉から読み取ることのできる時代背景

LINEによるコミュニケーションの重要性 白 浜 知 奈

高 田 光 星

和紙の現状と継承課題を考える

浜岸 奈央

『大鏡』の意義

電子書籍の普及が出版業界に及ぼす影響について

八木 祐加里

桐壺の更衣と楊貴妃と李夫人

橋川 沙弥佳

岡田ゼミナール

『宇治拾遺物語』における仏教性の考察

『今昔物語集』との比較を通して

沼田 有加

『女と帥の官の媒介者』

小林 香里

御伽草子『精進魚類物語』における擬人名の考察

横井 瀬奈

『源氏物語』における帚木三帖の位置付け

小間 大我

説話文学の史実と虚構

『十訓抄』大江山和歌説話の

解釈を中心として

山内 沙季

『源氏物語』に描かれる特殊な二組の母子関係

菅谷 聖斗

勝亦ゼミナール

『とりかへばや物語』における女君・男君の変化

梅野 輝

官人安倍清明

鈴木 祐美

平治物語に描かれる信頼

加古 翼輔

日本語形容詞「やばい」の時代変化に伴う

玉井 優太

『蜻蛉日記』における文の役割について

菅 美月

意味用法の多様化について

釣 恭輔

『枕草子』類聚章段から読み解く清少納言の美意識

中村 健太

『源氏物語』の物の怪考

——六条御息所の物の怪について——

南 佐和

『蜻蛉日記』における自意識の変化

宮地 美那

甘露セミナー

太宰治「赤い太鼓」の解釈およびリメイク案

飯田 桃子

『霧島酒造』のキャッチフレーズ及び企業CM企画書

浅野 成美

太宰治「盲人独笑」の解釈

——リメイク作品に向けて——

太宰治「猿塚」の解釈と小説企画書

太宰治「お伽草紙」より「浦島さん」の作品分析と

リメイク作品の企画案

加藤 澪

株式会社ニチバン「ワザアリテープ」のCM企画書・株式

会社NTTドコモ「dマガジン」のCM企画書

金丸 真梨

牛乳石鹸共進社「カウブランド赤箱」のCM企画書

金原 祐子

太宰治「新釈諸国噺」より「猿塚」の解釈および

映画制作におけるリメイク案

太宰治「浦島さん」の解釈とリメイク作品案

窪田 孝史

太宰治「舌切雀」の解釈とリメイクの企画書

小池 蒼平

ニチバン株式会社「ワザアリテープ」宣伝企画書

近藤 幹大

太宰治「粹人」における「粹」のあり方

太宰治「お伽草紙」「カチカチ山」の解釈とリメイク案

菅沼 卓能

パナソニック「ヘッドライヤーナノケア」CM企画書

富島 渚

『ペプシストロングS.O.G.U.』CM企画案

服部 結衣

濱田 拓哉

太宰治「舌切雀」の解釈

原田 琴実

『貧の意地』の魅力とその表現効果

平野 奈々帆

太宰治「義理」の解釈とリメイク案

藤井 愛実

太宰治「人魚の海」と井原西鶴「命とらる人魚の海」の

比較と考察

増田 仁美

牛乳石鹸共進社株式会社「カウブランド赤箱」の

CM企画書

御手洗 春奈

後藤ゼミナール

高屋奈月作品における言語的特徴の分析

——『星は歌つ』を題材に——

浦野 沙織

『星の王子さま』の邦訳によって生じる

文体のヴァリエーション

江川 亜紗子

西野カナの歌詞の計量言語学的分析

長田 明奈

日本語の書き言葉における漢字・ひらがな・

カタカナの使い分け

小野 有香子

『ハリー・ポッターと賢者の石』における

字幕と吹き替えのちがひ

小島 奈緒

帯広告におけるキャッチコピーについて

鈴木 麻由

麻雀漫画における関西弁の役割

鈴木 佑也

日本語ラップで好まれる韻の音数と連続性について

高木 祥希

日本の女性アイドルにおけるキャッチフレーズのあり方

竹内 志歩

日本語と英語とにおける野球用語の表現の違い

中村 駿太

英米作品につけられる邦題の役割について

——映画と文学の場合——

林 香里

化粧品広告の説明文における特徴について

——カタカナ語に着目して——

福村 佳那子

新聞記事における敬語使用の変遷

——皇室敬語について——

堀 妃呂奈

邦楽における人称代名詞の研究

漫画の巻末予告の日本語学的研究

日本のトイレ表示について

テレビゲームのキャッチコピーの表現特性

待川 尚吾
松波 香穂
山口 絵理子
渡邊 健太

『ガラスの仮面』における女性キャラクターの言葉の実態

岩谷 真奈

大学駅伝における言葉の力

平山 彩絵子

アニメにおいて自主規制がはたらくとき

——近代アニメと現代アニメを比較して——

水野 幹太

酒井ゼミナール

太宰治『人間失格』を読む

池田 大樹

『キッチン』『満月』がヒットした理由

——社会的背景から見る——

池山 藍

メタフィクションの技術

——小説・漫画それぞれの可能性——

川田 恵里奈

エスから百合へ

久野 奈緒

『ソードアート・オンライン』ヒットの理由

佐伯 和樹

児童文学のボーダーレスの問題について

——森絵都から考える——

佐野 瑛里加

『愛と幻想のファシズム』で描かれたもの

——そして現代を考える——

佐野 晃基

筒井康隆論

——ニヒリズムの果てに——

中島 夏雄

山田詠美『ベッド・タイム・アイズ』論

——なぜキムとスプーンは出会い、別れなければならなかったのか——

濱田 ももこ

『愛の処刑』と『憂国』の関係

——三島由紀夫における男色——

日比野 雅司

『それから』を読む

——得はなぜ「代助の尤も忘れる」人物なのか——

別府 祐希

『カラフル』

——小説と映像の比較——

渡辺 悠楽

『図書館戦争』

——表現の自由を守るために——

山本 桃子

小説企画書『ENDLESS DAYS』

『眠れる森の美女』に見る普遍的モチーフ

阿部 友星
安藤 くらら

『少女地獄』を読む

—— 少女たちを地獄に追いやる社会 ——

飯島 綾

スタジオジブリ・宮崎駿作品の考察

—— 長編アニメーションから ——

メッセージを読み解く —— 川澄 幸恵

新たなハッピーエンドの提案

ライトノベルの歴史と流行

—— ライトノベルの未来 —— 永田 大希

佐藤ゼミナール

大伴坂上郎女の新文芸

—— 安倍朝臣虫麻呂関連歌 —— 井垣 八千代

万葉集における高橋虫麻呂伝説歌を訓む

万葉集「桃歌」について

—— 「桃の木と実」と「桃の花」の諸表現 ——

井森 健太

万葉歌人山部赤人と大伴家持

—— 桜歌を巡って ——

岡田 恒輝

『万葉集』における「なでしこ」の表記と用法

—— 大伴家持に注目して ——

『万葉集』巻二の巻頭歌

—— 磐姫皇后の歌四首 ——

小黒 祐実

万葉女流歌人笠女郎研究

—— 恋と死 ——

片岡 未季保

万葉集の表現技法

—— 香りについて ——

亀井 絵里奈

万葉集、大伴家持の防人歌研究

萬葉集巻五 松浦佐用姫歌群の構造について

榊原 さおり

万葉集歌における「かはづ鳴く」と吉野川について

櫻井 舞

福井ゼミナール

源氏物語における醜女

—— 未摘花の役割 ——

高橋 智

犬の救命譚

—— その変遷を中心に ——

西村 菜那

三大和歌集における夢

伊藤 安美

役割語による漫画キャラクターの分析

小野小町

『アタゴオル』を資料として――

―― 美人イメージの形成――

小 椋 麻莉子

今昔物語集における動物転生

交通マナーポスターにおける表現の特徴

可知 秋代
久 保 明 里

―― 人間から動物へ――

駒 田 ななせ

『化物語』から見る役割語の差

郭公イメージの変遷

―― 数量に注目して――

小 松 彩 花

―― 三大和歌集を中心に――

佐々木 暁 帆

アメリカ映画の日本語翻訳における特徴

近 藤 みちる

今昔物語集における輪廻転生

長野県上伊那地域の若者の方言使用と方言意識

―― 殺生の結末について――

笹 原 糸 織

女性ファッション誌のオノマトペ

笹 岡 仁 美

異類婚の顛末

外来語の流行の一考察

―― 接近方法と結末を中心に――

鈴 木 詩 織

―― 「モダン」を中心に――

高 山 薫

竹取物語

―― かぐや姫の昇天について――

平 尾 駿

「男の娘」の言語表現の特徴と位置づけ

田 島 智 美

古事記における「祈願」

―― その目的を中心に――

後 神 佐 弥 子

若者言葉の変遷と特徴

西 田 勇 真

―― 「猫」に関することわざの表現

野 村 苑 未

―― サッカー中継における実況の談話分析

畠 知 弘

―― 短縮語「アマ」成立における対義語・複合語の影響の考察

前 野 紘 子

宮内ゼミナール

女性ファッション誌における表紙コピーの特徴

大 西 茉 里 奈

身体語彙「頭」・「足」を含む慣用句の比喩表現について

牧野慶子

鹿児島方言における敬語形式「らい」について

—— 昔話資料による方言研究 —— 松尾隆矢

ヒーロー・ヒロインの台詞における言語表現

溝口智之

J-pop における女性目線の歌詞の特徴

嶺山南沙

新聞記事における外来語「アイデア」の用法

森香菜恵

時代による「ニヤ」の使用傾向

山森万鈴

柳沢ゼミナール

お千世半兵衛の描かれ方

—— 『心中宵庚申』と『心中二ツ腹帯』を比較して ——

井上幸子

近世初期の遊女評判記

—— 『桃源集』と『満散利久佐』の比較 ——

尾上明日菜

『甲陽軍鑑』における三方原の戦い

—— 『三河物語』と比較して —— 加藤遥香

吉田・高尾・小紫について

—— 遊女評判記と『好色一代男』を比較して ——

松並沙奈

『雨月物語』に描かれた男と女

渡邊美桜

『伽婢子』に見る妖狐の姿

石岡まり

『絵本合法衛』に見る悪人について

井上紗希